

# 木曾谷森林計画区

## 次期森林計画についての森林管理署の考え方



赤沢自然休養林

(写真提供：上松町観光協会)

木曾森林管理署・木曾森林管理署南木曾支署

# 1. 計画区の概要

○木曽谷森林計画の国有林野は、長野県の南西部(木祖村、木曽町、王滝村、上松町、大桑村、南木曽町)に位置し、その面積は89,458haで木曽谷森林計画区全森林面積の62%を占めています。

○本計画区は、中京圏の生活用水、工業用水の重要な水源地帯となっています。また、地形が急峻で、降水量も多く、風化浸蝕が進んだ花崗岩等脆弱な地質となっており、水源のかん養や土砂の流出・崩壊等の国土保全の役割を担っています。

○本計画区には、森林浴発祥の地である赤沢自然休養林、優れた自然景観に恵まれた木曽御岳自然休養林や阿寺風致探勝林等の豊富な森林レクリエーション資源があり保健休養の場として、中京圏等から多くの人々が訪れています。

○本計画区は、国内でも有数の木材生産地であり、古くから木曽谷全域に亘って木材加工業等の産業が発達しています。

○国有林の森林構成は、天然林50%、人工林45%、高山帯等その他が5%となっています。天然林は、木曽ヒノキ及びモミ、ツガ等の針葉樹が多くを占め、人工林の樹種割合は、ヒノキ65%、カラマツ30%を占めています。このほか、高山地帯の岩稜地などの割合が高いという特色があります。人工林の林齢構成は、間伐適齢期の31年生から50年生に集中しています。

# 木曾谷森林計画区の森林資源の状況

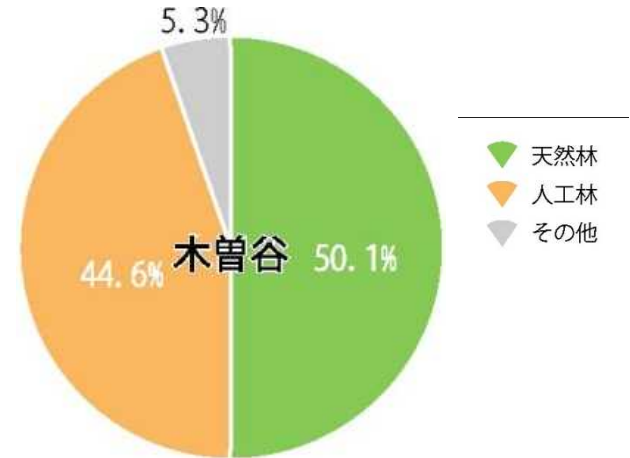
- 国有林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 行政界

**[国有林の分布]**

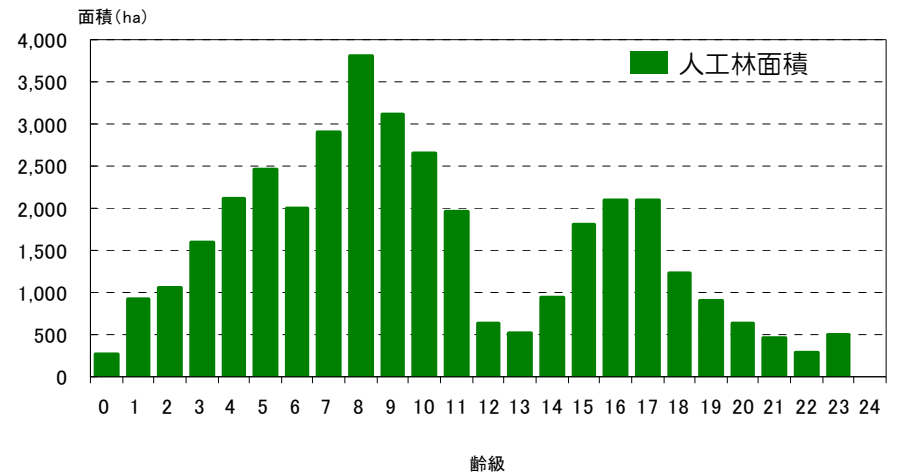


0 2.5 5 10 キロメートル

**[天然林と人工林割合]**



**[人工林の齢級別面積]**



## 2. 現行計画の概要

### (1) 国有林野の管理経営の基本方針

国土保全、水源のかん養、自然環境の保全等の公益的機能を積極的に高めていくことを基本とし、併せて木材の計画的かつ持続的な供給や国有林野の活用等による地域産業の振興等に寄与することとして、具体的には個々の森林を、重点的に発揮させるべき機能に応じて、3つの類型に区分し適切な管理経営を行います。

#### 水土保全林

土砂崩れの防止といった国土の保全、水源かん養など、安全で快適な国民生活を確保することを重視して森林を守り育てます。



#### 森林と人との共生林

野生動物の重要な生息地や希少な植物群落の保護など貴重な自然環境の保全や森林とのふれあいの場を提供することを重視して森林を守り育てます。

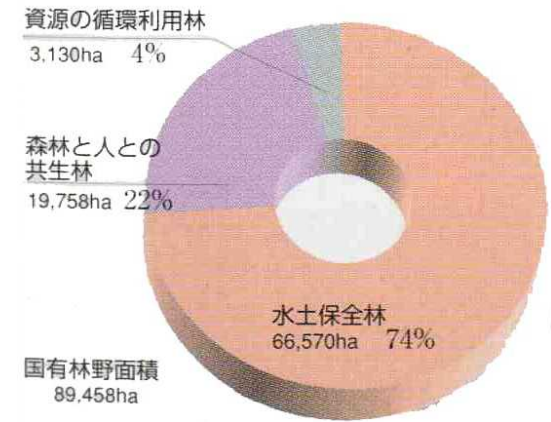


#### 資源の循環利用林

水源のかん養などの公益的機能に配慮しながら、持続的・計画的に木材を生産するための森林づくりを行います。



#### 木曾谷 森林計画区の 機能類型別面積



## (2)主要事業の計画

地球温暖化防止のための森林吸収源対策(森林整備により、光合成による二酸化炭素の吸収・貯蔵を高める取組)、木材の計画的かつ持続的な供給、国有林野の活用等による地域振興に寄与するなどの事業意義を踏まえ、平成19年度～平成23年度の5ヶ年間ににおける伐採、更新、保育、林道、治山を計画しています。

### 伐採量

現行計画量(m3)	
主伐	間伐
112,444	597,327

### 更新量

現行計画量(ha)	
人工造林	天然更新
430	975

### 保育量

現行計画量(ha)		
下刈	つる切	除伐
4,302	2,511	3,180

### 林道

現行計画量		
	箇所数(箇所)	延長(m)
開設	13	15,465
改良	152	5,070



### 治山

現行計画量(箇所)	
溪間工	山腹工
37	37

### 植付作業

### (3) 国有林野の維持、保存に関する取組(素案)

- 希少な野生動植物の維持、保存など自然環境の保全が一層重要となっていることから、16箇所にて保護林を設定して、その適切な管理を通じて生物多様性の保全に努めています。
- 職員やグリーンサポートスタッフ(GSS)による巡視活動を行い貴重な動植物等の保護や取締、また、NPOやボランティア団体等と連携して森林整備や自然再生活動等の保全管理活動を行っています。
- 地元自治体及び消防団等との連携を密にして、山火事や廃棄物の不法投棄に対する防止啓発活動を行うとともに、森林保全巡視を実施し森林保護に努めています。



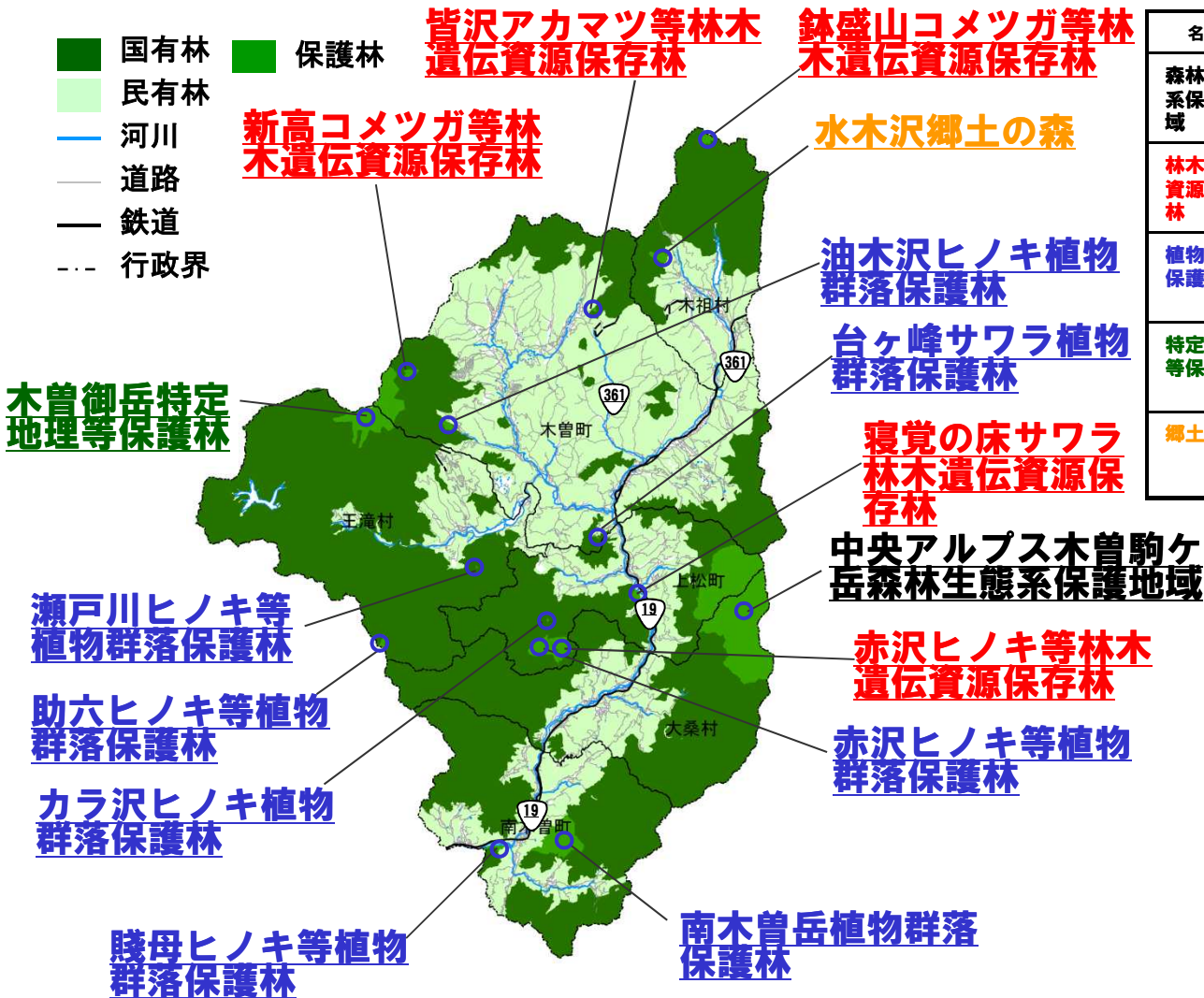
グリーンサポートスタッフ(GSS)による高山植物保護活動です。



グリーンロープの設置により高山植物を保護します。

# 保護林

- 国有林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 行政界



名称	特徴	面積 (ha)
森林生態系保護地域	原生的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護等に資する。	4,140
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を自然生態系内に保存する。	274
植物群落保護林	我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落などを保護する。	1,123
特定地理等保護林	御岳山頂に近い火口のカルデラ、噴気口など特異な地形、地質等の保護を図る。	1,156
郷土の森	地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保護を図る。	82



中央アルプス木曽駒ヶ岳  
森林生態系保護地域

保護林が16箇所設定されています。  
これらの場所は植物等の保護のために保全しています。

#### (4) 林産物の供給に関する取組

○ 本計画区は国内有数の木材の生産地であり、木曽ヒノキ、サワラ及び人工林ヒノキを主とする国有林材の計画的かつ持続的な供給を図っています。

#### (5) 国有林野の活用に関する取組

○ 本計画は、中央アルプス・御岳県立自然公園や森林浴発祥の地である赤沢自然休養林等の森林レクリエーション資源が豊富なことから地元自治体等と調整を図りながら、国民の保健・文化・教育的利用に資するレクリエーションの森の活用を推進しています。

#### (6) 国民の参加による森林の整備

○ ボランティアやNPO等による自主的な森林整備活動の場である「ふれあいの森」や、地域の伝統行事・文化等の継承に貢献する「木の文化を支える森づくり」、森林環境教育の推進を目的とした「遊々の森」など、国民参加の森林づくりを積極的に支援しています。

# レクリエーションの森

## 開田風致探勝林

## 開田野外スポーツ地域

## 開田森林スポーツ林

## 三岳野 外スポーツ地域

## 木曾御岳 自然休養林

## 王滝川風景林

## 三浦ダム 風景林

## 白草山風景林

## 滝越森林スポーツ林

## 助六風景林

## 奥三界 野外スポーツ地域

## 田立の滝風致探勝林

## 馬籠峠風致探勝林

## 奈川野 外スポーツ地域

## 鷹回り風景林

## 藪原野 外スポーツ地域

## 城山風致探勝林

## 寝覚の床風景林

## 瀬戸川風致探勝林

## 赤沢自然休養林

## 阿寺風致探勝林

## 大平峠風致探勝林

- 国有林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 行政界

0 2.5 5 10 キロメートル

レクリエーションの森

名称	特徴	面積 (ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場として指定した森林。	1,560
風景林	名所、旧跡等と一体となった景観等を形成している森林。	784
風致探勝林	渓谷など潤いある自然景観を構成している森林。	699
野外スポーツ地域	スキー場やホテル等のスポーツ施設、滞在施設等が一体となった地域。	731
森林スポーツ林	森林とふれあうアウトドアスポーツに適した森林。	198

レクリエーションの森として22箇所が設定されています。



木曾御岳自然休養林



阿寺風致探勝林

### 3. 次期計画の考え方

#### (1) 管理経営上の課題

○水源かん養機能、山地災害防止機能や保健文化機能等の公益的機能を積極的に高めていくことを基本とし、低炭素社会への貢献を図るため木材の計画的かつ持続的な供給や国有林野の活用等による地域振興と福祉の向上に寄与するために、多様で健全な森林保全・整備を推進する必要があります。

○平成20年度から平成24年度までを第1約束期間として森林吸収源対策に取り組んでおり、当計画区においても、間伐等の森林整備を着実に実行していく必要があります。

○平成21年12月に策定された「森林・林業再生プラン」(農林水産省)を踏まえ、率先して森林施業における民有林と国有林が一体となった共同施業団地化に取り組み、路網と高性能林業機械を組み合わせた「低コスト・高効率の作業システム」の導入を図り間伐材の利用を推進する必要があります。

○森林のうち天然林が53%を占め、また各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの森林を適切に管理していく必要があります。

## (2)計画内容等の考え方

### ① 森林施業の基本方針

公益的機能を積極的に高めていくことを基本とし、低炭素社会への貢献を図るため木材の計画的かつ持続的な供給や国有林野の活用等による地域振興と福祉の向上に寄与するために、個別の森林の現況や期待される機能を踏まえ、望ましい森林の姿へ誘導し、多様で健全な森林保全・整備を行うこととします。

### ② 森林吸収源対策の推進

人工林については、森林吸収源対策としての間伐に積極的かつ着実に取り組み森林整備を実施します。また、林野巡視等により森林の現況を把握する中で、除伐・つる切り・歩道の整備など適切な森林整備を実施します。

### ③ 民国一体となった施業団地の取組

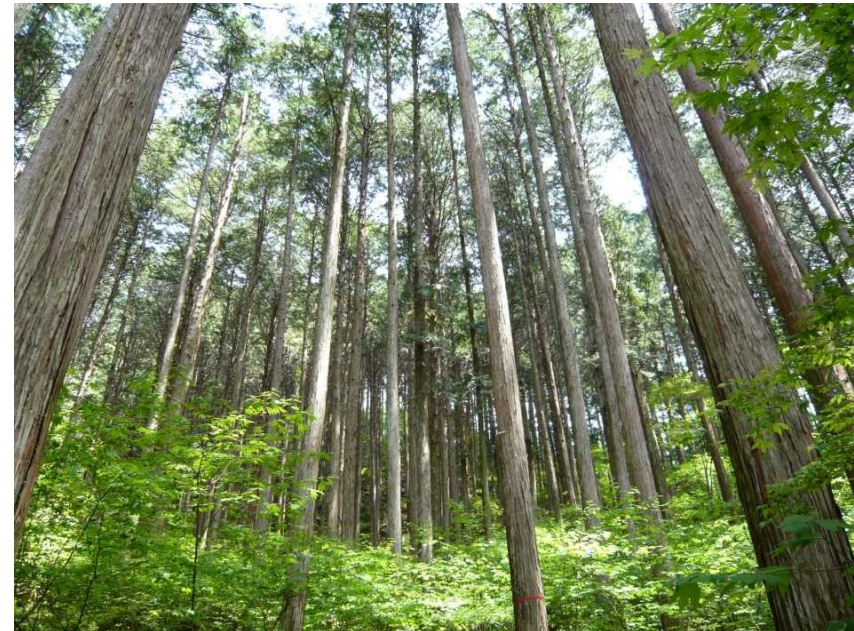
民有林と国有林が一体となった共同施業団地化に取り組み、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト高効率作業システムの導入を図り利用間伐を推進します。

### ④ 生物多様性の保全

希少な野生動植物が生息・生育する森林については、適切な保全・管理を行うとともに、人工林にあっては、適切な間伐の実施など、森林の状況に基づき多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



間伐実行中



ヒノキ人工林

### ⑤木材の安定的な供給・販売

森林の公益的機能を重視する森林施業を推進する中で、資源状況等を勘案しつつ計画的かつ持続的に木材を供給する方針の基に、販売は、弾力的に需要動向に応じて行い市場への委託販売の推進、間伐材等は需要先へ直送するシステム販売により新規需要の開拓と木材の安定供給に努めます。

### ⑥国民の参加による森林整備

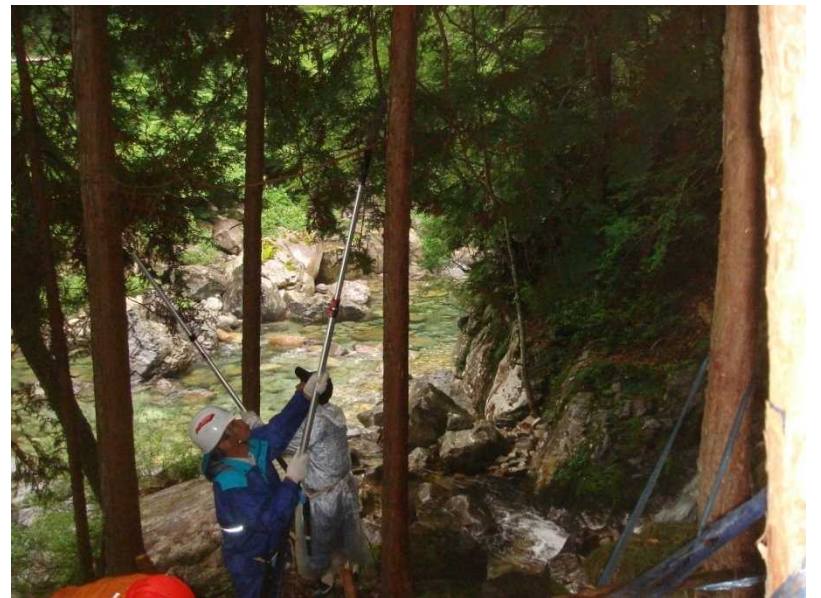
ボランティアやNPO等が行う自主的な森林整備へのフィールドの提供等、国民による自主的な森林づくり活動を支援します。

### ⑦国有林野の活用

中央アルプス・御岳県立自然公園と森林浴発祥の地である赤沢自然休養林等、森林レクリエーション資源が豊富であることから、地元自治体と調整を図りながら国民の保健・文化・教育的な国有林野の活用を図り地域振興に寄与することを推進します。



三殿貯木場



ボランティアによる森林整備